

タンネウシ



06

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

月号

知床硫黄山新噴火口観察会

昭和11年に20万トンもの溶融イオウを一度に噴出した世界的にもまれな知床硫黄山新噴火口の噴出メカニズムが、最近の調査で分かりつつあります。今回は、新噴火口で20万トンもの大量の硫黄が地下のどこに蓄積されていたのか？ 噴出した時に空中に飛ばされたイオウの形は？ を考えます▶日時：6月24日(土) 8:00~17:00 博物館集合・解散(朱円・峰浜・ウトロ方面にお住まいの方で、途中乗降希望の方はご相談下さい)▶担当：合地学芸員▶定員：7名(車で登山口付近まで行きます、小学4年生以上)▶持ち物：リュック・雨具(カッパ上下)・飲料水・昼食・軽登山靴・帽子・防寒具・虫除けスプレー等▶参加料：300円(保険料含む)▶悪天中止



知床硫黄山新噴火口

ミュージアムカフェ 「クマの内輪ばなしカフェ」

DNA分析からヒグマ社会の内輪の事情が見えてきています。お茶を飲みながらの井戸端会議形式で、現場の調査の生の話を聞きます▶日時：6月25日(日) 18:30~20:00▶講師：

下鶴倫人(北大獣医学部准教授)

▶定員：13名(申込み5名以上で実施)▶参加費：大人200円(協力会会員無料)



ヒグマ調査中の下鶴さん

写真展「道東ラッコ物語」

2009年、ラッコの「クーちゃん」が釧路市沿岸に現れてから、根室を中心にラッコが頻繁に観察されるようになりました。いまでは根室でラッコたちがコロニーを作り、子育てをしています。釧路市在住の今泉俊雄さんがこれまでに撮影したラッコ達の写真を展示します▶期間：7月1日(土)~23日(日)▶写真展のみの観覧は無料です。



ラッコのクーちゃん、2009年11月撮影

収蔵資料展示「時計」

6月10日は「時の記念日」です。

博物館には寄贈された時計がたくさんあります。常設展示では、巨大イカの展示コーナーから見られます。懐かしい物を数点展示します▶期間：6月1日(木)~28日(水)

▶交流記念館ホール▶資料展のみの観覧は無料

博物館みどりの日

花壇の苗植えを行います。終了後は親睦会があります▶少雨決行。

▶6月18日(日) 9:30~12:00

早朝草取りボランティア

毎月10日に実施します。お手伝いをお願いいたします▶6月10日(土) 6:00~7:00▶博物館野外観察園集合▶雨天中止。

今月の学芸員のイチオシ!



CD モーツァルトWA：フルート四重奏曲全集 / 有田正広、ボッケリーニ四重奏団。作曲当時その地域で使われた楽器、調律、演奏様式といった歴史的考証を積み重ね、立ち現れたのは気品溢れる優しい響き。日本コロムビア1989年録音。(内田)

休館日 6月の休館日は5・12・19・26日の月曜日です。編集後記 個人的に地元の桜の名所は、朱円小学校・越川小学校・来連小学校と水の公園ですが、どこも閉校になり走りまわる子どもたちの声がないのが寂しい。今年もきれいに桜が咲いていました。(ひら)